

# 息障院(伝範頼館跡)(東松山市)

岩殿山息障寺とある



源範頼館跡とある



山門が見える





左手の築地塀に沿った空堀は当時の館を取り巻く土塁を伴う構堀の名残だという



参考ホームページ

<http://www.geocities.jp/tsukayan0112/joukan-saitama/minamoto-noriyori-yakata-yosimimati/minamoto-noriyori-yakata-yosimimati.html>



# 息障院

所在地 比企郡吉見町大字御所

吉見町  
山ノ子大乗寺 御所  
〒362-0201 比企郡吉見町御所  
TEL 049-232-4521  
FAX 049-232-4522  
営業時間 7:00

当山は、真言宗智山派に属し、岩殿山息障院光明寺と称する。

開創は古く、天平年中（七三〇年ごろ）行基菩薩によるといわれている。また、大同年中（八〇六年ごろ）坂上田村麻呂將軍の開基によるとも伝えられている。

古くは吉見護摩堂と称し、天慶の乱の折、平将門調伏の護摩を修し、その功により息障院の号を下賜されている。現在の境内地は、源範頼の館跡といわれ、県の指定旧跡となっている。

本尊は不動明王であり、平安時代末〜鎌倉初期のもので定朝様式を伝える傑作といわれ、県指定の有形文化財である。

当山の全盛期は、戦国末期から江戸時代で、その当時は、末寺百二十余か寺を数え、隆盛を極めたものである。

平成十年三月

吉見町・埼玉県



仏説大乘蓮像功德経上・下巻



木造不動明王坐像



箱木着色説巻図





左から

- ・ 重要建造物      地蔵堂一字      室町時代
- ・ 重要文化財      本尊不動明王坐像      県指定
- ・ 史跡              源範頼館跡      県指定

本尊不動明王坐像



インターネットより























山門から本堂を見る



本堂







鐘楼





境内社/天満宮



地藏堂/室町時代







「三間で、屋根は寄棟造、一軒平行垂木で、縁があり全体として和様を基調とした建築である。大分修復の手が入っているように見受けられるが、木鼻の形など確かに室町期の建築らしい姿に見える。檼束の上に肘木を乗せているのがおもしろい。」 インターネットより









本堂より山門方向を見る



境内にはさまざまな石造物があった









宝篋印塔もある



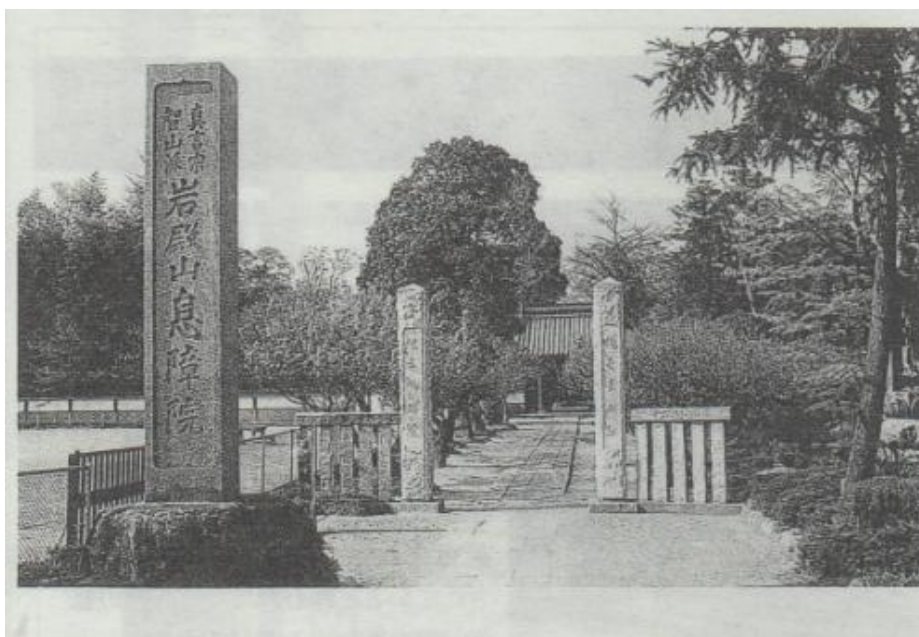












## 伝源範頼館跡

県指定 旧跡

でんみなもとののりよりやかたあと

吉見町大字御所地内の息障院一帯が、源範頼の居館跡と伝えられている。源範頼は頼朝の弟で、平治の乱後、岩殿山(吉見観音)に逃げのび、そこで成長したと伝えられている。兄頼朝が鎌倉で勢力を得てからこの地を領するようになり、館を中心とするこの地を御所と呼ぶようになったと言われている。その後、範国、為頼、義春、義世は吉見氏と称し、範頼から五代の間この地に住んでいたと言われている。吾妻鏡永仁4年(1295年)の条には、「吉見義世謀逆により由比ヶ浜にて斬首」とあり、これを最後に吉見氏の名は史書に登場しなくなる。現在の息障院がこの地に移ったのは、室町時代の明德年間と伝えられるが、今なおこの寺の周囲には、範頼の館建立時に作られたと言われている堀の一部等が残っている。

参考ホームページ

<http://homepage3.nifty.com/azusa/saitama/yosimimati.htm>